



全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月18日(火)に、6年生を対象に実施しました全国学力・学習状況調査の結果について、ご報告いたします。

今年は、「国語」「算数」の2教科で調査が行われました。全国平均と本校の結果とを比較して、本校の状況を職員で分析しました。今後の教育活動改善に活かしていこうと考えております。



算数では、平均正答率が全国平均よりも少し上回りました。5学年を中心とした算数の授業において、少人数での授業を実施したことで、基礎的な知識・技能を定着させることができた表れだと考えています。ただ、図形の性質や面積を問う問題で、理解が不十分なようすも見られました。また、指定された条件を満たして、解法を説明する力にも課題が感じられました。

国語では、全国、三重県の平均正答率をやや下回る結果となりました。調査問題では、初めて読む長文の内容をすばやく理解し、問われていることがどこに書かれているかをさっと見つけられないといけません。したがって、教科書で勉強するだけでなく、日頃からたくさんの文章を読む習慣が大切になってきます。「考え」と「事例」、「原因」と「結果」など、書かれている情報と情報の関係を問う問題の正答率がやや低かったです。

児童質問紙調査では、本校の児童は、家庭学習 1 時間以上の割合が、全国平均と比べ低くなっています。

また、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」という質問において、「10分以上」の割合が、全国平均より下回っているのも気になるところです。

これらを踏まえ、二学期は、以下の取組を全校で進めています。



(1) 授業づくりの改善

子どもたちが主体となり、学習内容を楽しんで学べるよう、授業の在り方を改善していきます。具体的には、子どもたちの興味・疑問を引き出し、「問い」をつくらせ、それをもとに授業を組み立てていきます。また、子ども同士が伝え合い、聞き合って、ともに学んでいく学級

文化を育てていきます。それらにより、児童の主体的・対話的な学びを生み、自ら「掴んだ」「発見した」と実感できるように学習展開を工夫します。

【算数科】

- a 子どもたちの興味関心を高め、自分ごととして考えたいくなるように、授業の導入や問題提示の仕方を工夫します。
- b 自分と仲間との考えや解法の違いから「問い」をもたせ、グループやクラスで、互いに学び合う学習活動を推進します。
- c 子どもたちの多様な考えを引き出し、どのように考えたのかを、子どもたちが黒板の前に出て、式や図等を指し示しながら仲間に説明する活動を増やします。
- d 授業で扱った問題や授業終末の適用問題の解法を、文章や式、図等を用いてノートに書いて説明する活動を取り入れます。



外部講師による示範授業 9/6

【国語科】

- a 音読を積極的に取り入れ、一つ一つの言葉やその意味を意識し、書かれている内容をイメージして、「表現読み」ができるように取り組んでいきます。
 - b 子どもたちから出された意見の違いを明らかにし、整理分類して、自分の考えを選択する活動を取り入れます。
 - c 対象と言葉、言葉の意味、言葉と言葉の関係、文と文との関係を根拠にして、自分の考えを構成したり、仲間に説明したりする活動を増やします。
 - d 「はじめ」「中」「おわり」といった構成を意識して、自分の考えを文章で書き表す活動を増やします。
- (2) 安心できる学級づくり

教室が、クラスの仲間に自分の気持ちを受け止めてもらっていると実感でき、安心な（承認欲求が十分に満たされる）居場所となるよう取り組みます。そのような学級づくりにより、子どもたちが自己肯定感や学ぶ意欲を高め、いくことができるようにしていきます。

(3) 地域教材の活用

地域の産業や、人々の生き方を自らの心で感じ、そこから学ぶような授業を創造していきます。そのために、まず教師が地域を歩き、地域の魅力を自ら体感し、教材化していきます。

(4) ワークシートによる読む力・書く力の定着

鈴鹿市全体で取り組んでいる「読む書くワークシート」、「読むYOMUワークシート」等を、朝の学習時間等で活用し、文を選び、言葉に着目して自分の考えをついたり書きまとめたりする活動を、全校で継続的に行います。



朝の学習でワークシートに取り組んでいるようす

(5) 読書活動の推進

図書室の貸し出し冊数が、児童一人当たり年間44冊以上となるよう、様々な取組を進めています。図書委員会では、「先生のお薦め本」「読書チャレンジ」「読書の木」「多読賞」「親子読書」「図書室クラスルームの設置」「図書のスタンプラリー」といった企画を行って、子どもたちが本を手にする機会を増やしています。



「座卓の読書スペース」の新設

また、図書室に座卓のコーナーを新設し、上靴をぬいで、くつろいで本が読めるようにしました。子どもたちからも、大変好評です。

また、図書室に座卓のコーナーを新設し、上靴をぬいで、くつろいで本が読めるようにしました。子どもたちからも、大変好評です。

ご家庭でも、ぜひ子どもたちに読書の楽しさを感じさせてあげてください。

(6) 家庭学習の充実

毎日の家庭学習において、自主学習を行ったり、丁寧にノートまとめをしたりしている意欲的な子どものノートを紹介するなどして、一人一人が「やってみたい」と感じられるよう、励ましの声掛けを行っています。また、Chromebook を用いた家庭学習においても、スキル学習はもちろんのこと、授業のふり返りや、次の授業につながる学習ができるよう、学年に応じた工夫をしています。

ご家庭でも、いつもご支援・ご協力くださり、ありがとうございます。今後とも、一層のお力添えを宜しくお願いいたします。

ノーメディアデーの取組、ご協力ありがとうございます

9月28日(木)にご協力いただきました「ノーメディアデー」の取組結果についてご報告いたします。

「ノーメディアデー」は、白子中学校区で連携して毎年行っている取組です。メディアを使用しない日を作ることで、普段、目的もなくテレビ等を見ている時間に気がついたり、その時間を家族の会話や読書、学習等に有効利用したりすることで、普段の生活をより自律的で意義のあるものにしてほしいという取組です。



今回の取組では、0分（使わなかった）人の割合

は、1年生では約70%あるものの、学年が上がるにつれ、徐々に少なくなっており、20%を切っている学年もありました。また、2時間以上使用したと回答した割合も、学年が高くなるにつれて増える傾向が見られました。



【子どもたちのふり返りから】

(一部抜粋)

- ・ 前よりも集中して自主学習に取り組めたと思います。
- ・ いつもよりたくさん勉強できました。普段も、時間を揃えて、できるだけ多く勉強したいと思いました。
- ・ 難しい問題に取り組んでいるうちに、気がついたら100分も経っていました。よく集中できました。

【保護者の方からのメッセージより】

(一部抜粋)

- ・ 前回より学習時間をとることができていて、えらかったと思います。この調子で、家での勉強を習慣化できるといいと思います。
- ・ 自主性を身につけていってくればと思っています。何も言わなくても、勉強をすすめてくれていました。
- ・ 毎日、時間を決めて勉強ができるようになりました。

を以下に紹介させていただきます。

今回の取組を契機に、子どもたちの日

常生活がより充実して行ってほしいと願っています。次回は11月21日(火)を予定しています。ご協力を宜しくお願いいたします。

学校運営協議会が開かれています

家庭・学校・地域が一体となって、子どもの教育と子どもの安全を守る活動に取り組み、子どもや地域の実情に応じた質の高い教育活動と、地域における子どもたちの安全な生活を実現することを目的として、稲生小学校学校運営協議会が組織されています。

本年度、委員をしてくださっている皆様を紹介いたします。心より感謝申し上げます。

委員名(敬称略)	役職等
水谷 忍	委員長
小林 文雄	副委員長 夢協会長
村山 昌子	地域コーディネーター 夢協副会長
生川 喜代一	夢協 産業振興部会長
飯野 光治	夢協 福祉部会長
鈴木 圭子	主任児童委員
高淵 悟	PTA 会長
門谷 林訪	PTA 副会長
高田 敏	学校支援ボランティア
樋口 延枝	学校支援ボランティア

これまでの協議会で審議・協議いただいた内容を、一部になりますが紹介させていただきます。

(1) 学校経営方針について

- ・ 学校教育目標「人間性豊かで、たくましい実践力をもった子どもの育成」
- ➡ あいさつを自分からできる子どもを育てたい。

⇒(学校・PTA・地域)三者で、協力・連携して教育活動を創造していきたい。

(2) 子どもたちの安全・安心について

- ・ 昨年度、大雪で登校を遅らせた際、集団登校か個別登校かで混乱が生じた。
- ➡ 学校からのメール配信とともに、各地区委員さんから集合時間等の連絡がある

とよい。

⇒(PTA)各地区委員さんに、対応いただけることになりました。

- ・旧トマトコート前の横断歩道では、子どもたちが路地に入るまでに路側帯を通らないといけない状況がある。

⇒横断歩道の位置を路地の前にずらせないか。

⇒(地域)横断歩道の移設を市に要望。



《実現していただきました》



《実現していただきました》

- ・学校プール東側の通学路では、子どもたちが登下校で道いっぱいに広がってしまうことがしばしばあり、近隣の方にご迷惑をおかけしている。

⇒(学校)子どもたちに、道路の歩く場所を再度指導しました。

⇒(地域)子どもたちの歩く場所を分かりやすくするために、グリーンベルトの設置を市に要望。

- ・6月の大雨の際には、中学校区で申し合わせ、下校時刻を早めて集団下校させる対応を行ったが、お迎えの車がたくさんあり、学校東の道路で渋滞が発生してしまった。

⇒安全に子どもたちの送迎ができるように運動場南側にロータリーを造る等、改善策はないか。

⇒緊急時の児童引き渡しの際にも、学校東側及び南側の道路で渋滞が懸念される。運動場に車がスムーズに出入りすることができるようにならないか。

⇒(学校・PTA・地域)運動場南側門扉周辺をどのように改修するのがよいのか、費用はどう捻出するか、今後検討を継続していきます。

(3) 地域との連携について

- ・「敬老会」では、コロナ禍以前は、子どもたちがダンスや歌唱を披露するなどしてきたが、土曜日の開催であるため、時代の変化に伴い、児童の参加が難しくなっている。

⇒地域行事に、子どもたちが関わっていくことには、大きな意義がある。

⇒(学校・PTA・地域) どのような参加方法があるか、今後協議していきます。

※今後も、地域の皆様とともに、よりよい教育活動を実現していきたいと思っております。お力添えを宜しくお願いいたします。

子ども食堂「稲乃屋」さん、野町、鈴鹿ハイツでも開店!



ホームグラウンドの本照寺さん以外でも、「稲乃屋」さんが開店! 地域の皆さんの和・輪を広げてくださっています。子どもたちもボランティアとして参加して活躍!

★7月 16日(日)野町団地集会所「いこいの家」★



★10月 15日(日)ハイツ鈴鹿集会所★

令和5年度 今後の主な行事予定

【10月】

- 22日(日)稲生地区防災訓練
- 25日(水)全校引き渡し訓練 13:05～
- 26日(木)～27日(金)修学旅行(6学年)
- 31日(火)紫ツツジ種とり体験(4学年)

【11月】

- 3日(金)文化の日
ふるさと巡りウォーキング(地域行事)
- 15日(水)不審者対応訓練
- 16日(木)R6年度入学児童就学時健診
- 17日(金)5学年社会見学
- 20日(月)授業参観5限
- 21日(火)ノーマティアデー
- 25日(土)稲生地区収穫祭

【12月】

- 8日(金)鈴鹿市音楽会(午前の部 4学年)
- 12日(火)白子中学校区人権フォーラム(6年生代表)
- 20日(水)給食終了
- 21日(木)あゆみ渡し(希望者のみ面談)
- 22日(金)二学期終業式
- 28日(木)学校閉校日

【夢協子ども食堂予定】

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 11月 25日(収穫祭) | 1月 21日(本照寺) | 3月 17日(本照寺) |
| 12月 17日(本照寺) | 2月 18日(本照寺) | |

今回お伝えしました学校・地域の行事予定は、今後、追加・変更になる場合があります。その際は、随時お知らせいたしますので、学校からの最新の連絡をご確認ください。宜しくお願いいたします。

【1月】

- 4日(木)学校閉校日
- 9日(火)三学期始業式
白子中校区あいさつ運動
- 11日(木)給食開始
- 15日(月)天栄中校区あいさつ運動
- 19日(金)紫ツツジ鉢上げ体験(4学年)
- 29日(月)授業参観5限
- 31日(水)R6年度入学児童入学説明会

【2月】

- 22日(木)6年生を送る会
- 26日(月)ノーマティアデー

【3月】

- 8日(金)避難訓練(地震・火災対応)
- 11日(月)防災学習(鈴鹿市防災の日)
- 19日(火)卒業式
- 21日(木)給食終了
- 25日(月)修了式, 離任式, あゆみ渡し

